

## 第6回「わのうち未来塾」の様子

1 期 日 平成30年8月2日（木）

13時30分から15時30分

2 講 師 町保健センター保健師 尾川裕美、助産師 高橋珠美 田辺むつえ

3 内 容 自分の大切さを知ろう

○助産師さんてどんな人、みんなどうやって生まれてきたの。（助産師の話）

受精から胎児が子宮の中でどのように生育するのか、また、出産はどのように骨盤を通り抜けるか。帝王切開とは。

○5つの体験コーナー（5グループに分かれ5つの体験をする。）

・離乳食の話。

粉ミルクの試飲、十倍がゆの試食、サツマイモとリンゴの煮物の試食

・赤ちゃんグッズを見てみよう。

産着、幼児着、抱っこひも、うばぐるま等を触ってみる。赤ちゃんの模型を抱っこひもで抱いてみる。

・おなかの赤ちゃんの大きさ、重さはどれくらい。

胚芽、子宮の中の赤ちゃん模型（3ヶ月、6ヶ月、9ヶ月）、1500g・2700g・3000gの赤ちゃん模型を抱いてみる。

・赤ちゃんクイズ。

赤ちゃんの始まりはどれかな。子宮の中の赤ちゃんの周りの者は何か。へその緒は何cm。赤ちゃんを出産するときに母親の体重は何kg増えるか。

・赤ちゃんの様子を見たり、妊婦さんの話を聞く。

横になっている妊婦さんの、その胎児の心臓の音をきく。（10秒間で25回）

多くの母親と一緒に赤ちゃんの動きを見る。

□まとめの会（引率者、講師）

・講話だけでなく、いくつも準備された体験コーナーがあり、参加者が興味をもって取り組むことができた。

・難しい言葉もあるが、何とか理解して聞いていた。

☆各小学校の思春期講座がなくなったので、来年度も未来塾の講座で実施したいとのこと。

